〒949-6615 南魚沼市西泉田 47-2 ☎025-773-3770 Mail sougoushien@minamiuonuma.ed.jp

EQ QE 421



選手に声援をおくる市立五日町小 の子どもたち=南魚沼市

ん (右) =南魚沼市

取材する井口翼くん(中央)と堀江結さ おにぎりを配るボランティアの小学生に

ス日本

# 地元の小学生たちが選手、ボランティア、そして取 材記者として元気いっぱいに会場をかけめぐりまし た。アルペンスキーなどが行われた南魚沼市では、 競技で 地元の小学生 大活躍

けて、雪の上で行うかけ も呼ばれる器具を足につ か。「西洋かんじき」と いう競技を知っています スノーシューイングと 出場が自信につながる

市立総合支援学校小学部 ンに立ったのは、南魚沼 トル決勝のスタートライ っこです。 14日、男子100メー したが、スノーシューは

夏季、冬季大会が開かれ と同じように4年ごとに 取材で SOは、オリンピック 自分も「頑張る」と発信

ます。今回の日本大会は、 2017年にオーストリ 選考会も兼ねています。 アで開かれる世界大会の 大きな役割は、障害の さな記者たちのリポー

2人のほか、各校の

特集する予定です。 は、28日に見開き紙面で

ちが7競技33種目で日ごろの練習の成果を競いまし 市で開かれ、全国から集まった約600人の選手た ナルゲーム・新潟」が12日~14日、新潟市と南魚沼 スペシャルオリンピックス(SO)日本冬季ナショ (編集委員・別府薫) 5年の山口大将くんで した表情を見せました。 走りができた」と、ほっと Jν けて6人中トップでゴー ぐんぐんとスピードをあ いう家族の声援を力に、 \$ 競技との出合いは1年 自分でも納得できる 「1番になりたかっ 「がんばれー!!」と くん(6年)。「大勢の前 を務めたのは、山口くん と同じクラスの樋口達也

ろなことに挑戦してほし たしました。嶋津先生は ことなく笑顔で大役を果 くんですが、SO日本名 い」と期待します。 に、自信を持っていろい といっしょに一度も転ぶ 誉会長の細川佳代子さん 「2人ともこの経験を糧

で大丈夫かな」と前日か らドキドキしていた樋口 は「大会に自らかかわる 沢小校長の岡村秀康先生 との大切さを学べたので とはりきります。 SOのことを伝えたい 気持ちになった。読者に は「選手たちの姿を見て インタビュー。井口くん 年)は、選手やボランテ結さん(ともに塩沢小6 は」と話します。 でなく実際に行動するこ ことで、思っているだけ 自分もがんばろうという ィアの子どもたちに欠る 里山支局の支局長で恒

知的障害がある人たちのスポーツの祭典「第6回

SO日本理事長、有森裕子さん(元マラソン選手、オリンピック・メダリスト)の 話 小学生のみなさんむ、日常生活のない かで自分ではどうしようもできない不自由さ、不便さをかかえているかもしれません。でも、SOに参加するアスリート (選手) たちの姿を見れば、できないことはない、それぞれの特徴を生かしてチャレンジすることが大切だとわかるはずです。 は、みんながんばれるのです。

津先生はふり返ります。

て、

南魚沼市に「里山支

アルペンスキーの前走

局員の井口翼くん、 局」を設けています。

南魚沼

ようになりました」と鳴

の取り組みの一つとし

きません。 途中でぬけてしまうこと もあって思うようにはい 練習を続けるうちに、

うちの人は、山口くんの 担任の嶋津祐樹先生やお たったのに、不得意な漢 手なことは避けるタイプ 変化に気づきました。「苦 あるなしにかかわらず、

字もがんばって漢字検定 を受けたいと手をあげる の子どもたちも、さまさ ティアのベ4千人が支 まな形で参加しました。 校と総合支援学校計26枚 と。地元を中心にボラン さまざまな人が共に生き ッセージを発信するこ る社会をめざすというメ 朝小は創刊5周年記念 南魚沼市立の小中学

曹をかき上げながら走る山口大将くん=新潟県南魚沼市

朝日小学生新聞 2 月 18



2016年2月18日 本曜日

全国紙1面トップに南魚沼市が! 朝日小学生新聞は、朝日学生新聞社(朝 日新聞社子会社)が1967年から発行して いる小学生向けの日刊新聞。略称は朝小 (あさしょう)です。発行部数 11 万超。

> NIIGATA 20 Q.

## 新潟日報2月16 Н

競技の決勝を行い、

り合った。

将君(11)=南魚沼市=はゴ ○ はで1位になった山口大を語った。

スノーシューイング10

の先生や友達も大勢応援に にほっとした表情。

もっと速く走

スノーシューイング回「金」山口君(南魚沼)

接戦となったスノーシューイング 100‰決勝。山口大将君は雪を跳ね 上げ全力疾走した=14日、南魚沼 市の五日町スキー場

が、伝わった時はうれしか にはゆっくり分かりやすく 心する。 私たち以上だった」と感 宮凉菜さん(17)は「選手

勢は変わらないと思った。 勢は変わらないと思った。 のが、競技に取り組む姿 をでは、関するのでは、 のでは、 仲間を思いやる気持ちは 導や表彰式を手伝った南 魚沼市の八海高体育科2

場だった。「絶対に1位を ながら毎日の練習を欠かさ てやめられない。もっと練 あ」とつぶやいた。レース さん(24)=十日町市=は、 取りたかった」と地元大会 ない。今月末には国際大会 前に競技を始め、SO初出 に答えた。介護施設で働き テラン。「滑るのは楽しく 援学校の小学部5年。2年 がとうございます」と丁寧 は接戦。ゴール直前まで競 予選よりタイムを縮めてゴ ールした瞬間、「よかった リーで優勝した村越裕太郎 への思いは熱く、 金メダル に出場する。 「地元でいい 山口君は南魚沼市総合支られるたび、笑顔で「あり 「学校 滑りができてよかった。で だ。もっと頑張らなければ」も世界で勝つにはまだま れるように頑張る」と決意と謙虚に誓った。 ールした。祝福の声を掛け クロスカントリー3ぎフ 金だ。 に関わった高校生らも障 次に狙う色は「もちろん、 習してうまくなりたい」 た。SO出場は4回目のベ をいとおしそうに見詰め ど、頑張った」と銅メダル 難しいコースだったけれ (30) ―上越市―は3位に食 転に出場した丸山修一 五日町スキー場で選手誘 害者との距離を縮めた。 い込んだ。「急斜面もある ボランティアとして大会 アルペンスキー

知的障害者の国内冬季競技会 催を締めくくった。南魚沼市の 県勢はメダルラッシュで地元開 0) 2016新潟」は14日、7 「スペシャルオリンピックス(8 新潟市と南魚沼市で開かれた 閉幕した。 スペシャル オリンピックス<sup>新</sup>潟

ての選手をたたえた。ひときわての選手をたたえた。ひときわれ、順位に関係なく全 集19面に) 明るい笑顔とガッツボーズに惜 しみない拍手が送られた。 関連記事13・15・17面、写真特

の熱

0) 2016新潟」で、雪 はカフェを出店してコーヒ シャルオリンピックス(S た。支援学校高等部の生徒 障害者の冬季競技会「スペーンスや歌を披露したりし13、14日に開かれた知的一地元の魅力を紹介したりダ の家族の女性(55)は「接客 ーをサービス。青森県選手 閉幕

の五日町スキー場では、市

上競技が行われた南魚沼市

新潟日報 2月16日

## 応援パネル、会場で歌やカ 住民らのも てなし好評

スペシャル オリンピックス新潟



る」と目を細めた。

と。自然な出会いが生まれ

ん(66)は「ほんまにいいこ

奈良のスノーシューイング一た。とても楽しい経験だっ

ヘッドコーチ、胎中廉啓さた」と振り返った。

支援学校や市内の小学校が

参加した交流会が開かれ、

館では同日、南魚沼市総合

会場にある雪国スポーツ

ル120枚を観客に配っと太田愛永さん(17)は「選 ルに描いた手作り応援バネ 高2年の富山杏花さん(17)

た。他県選手団からは、

記手は私たちの名前を覚えて

念撮影にひっぱりだこに。

くれて、

すぐに仲良くなれ

ゴー」などの言葉をカラフ 日、「ファイト!」「レッツ

手らとダンスを踊った八海 まれた。14日の閉会式で選

撮影する薮神小児童=13日、南魚沼市手作り応援パネルを手に選手団と記念

県選手団や観客をもてなし民有志が工夫を凝らし、他 市内の薮神小4年生は13

の気持ちが伝わってきた」 と感心していた。 態度も親切で、おもてなし 市民の胸にも思い出が刻

スポー

ツ通

て自信

の) 日本冬季ナショナルゲ マルオリンピックス (S 知的障害のある人らによ

競技スタート

手が日頃の練習の成果を披った。雪上や氷上などで選

レックスアイスアリーナで

露した。

新潟市中央区の朱鷺メッ

ーム」の競技が13日、始ま

は おり、同区の新潟アサヒア 行われるフロアホッケーが

同区の新潟アサヒア一で熱戦が繰り広げられた。

やスノーボードなど4競技

れた。南魚沼市の五日町ス

二つのスケート競技が行わ

学校生活など積極的に

スペシャル オリンピックス



が出場の山口大将君(1)はヘノーシューイング100 沼市の五日町スキー場。を抜いてはいけない」。南 選直前、自分に言い聞か 予選だからと言って手







# で取り組み、苦手なことにながった。「何事にも全力



# 般来場者に見守られ、堂々と行進した。 スペシャルオリンピックス開幕

# - 卜選手だ。 ボランティア



入場する新潟の選問 団=新潟市中中区





# E

スペシャル オリンピックス

さん(22)は、 きた新潟医療福祉大学

「最初は氷の

いんばる勇気を与えてくだ 「たとえ勝てなくても、 たのに、堂々としてて感動上に立つこともできなかっ

計ったりする。

た。市立総合支援学校の生 十分に生かされる」。南魚

った。一緒に練習したり、

「SOの精神は音楽にも 0

0

試合の時間やファウル数を 授業でSOを知り、障害者 のスポーツ活動に興味を持 一の練習に関わってきた。

る県唯一のフィギュアスケ 質をした。今大会に出場す 要し、斎藤科さん(9)が宜 恵会式でアスリートを代 0

が多い同大学は、数年前か 指導関係の仕事につく学生 ターなど卒業後にスポーツ 体育教師やインストラク 0

具をしまい、 プログラムの現場では道

土 者もいる。そんなときは道 具に夢中になって、話しか う」と誘った。仲良くなる と話しかけられることも増 一緒に走ろ れるSO閉会式で演奏す 徒たちが市内で14日

と練習を重ねている。 演奏メンバ ラシック曲を弾く橋さんが 招かれ、今年から生徒たち 道999] る。披露するのは「銀河鉄 。鍵盤楽器でク 一の一人として

学校で練習を始めたばか SO。参加するアスリー

曲を伝えたところ、誰一人 りの橋さんが驚いたことが 自然に仲間に入っていけた 晴れの舞台での演奏だ。 たら……。大会に込めたそれぞれの思いを紹介する。

然と仲間 支える人たちにも喜び て な

朝日新聞2月13

知的隣害のある人らによるスポーツの祭典 「スペシャルオリンピックス (SO) 日本冬季 ナショナルゲーム」の開会式が12日、新潟市中 実区の朱鷺メッセであった。1千人近くの選手 団が、約1千人のボランティア、約2300人の一 かせかが12月25年

ップできる大会にしたい」 方につながる、ステップア

「皆さんのすばらしい生き

た。有森裕子大会会長は 遥さんらが聖火を運んだ。各都道府県の最後に入場し ィギュアスケーターの今井 潟市北区) 4年の高波奈侑きた新潟医療福祉大学(新 ォーマンスを披露し、最後 はCco (ねぎっこ)」もパフ 害のある参加者と練習して として、斎藤さんら知的障 アイドルグループ「Ne 最後 送った。 発揮できると思うので、楽 んは「楽しんでこそ成果を 市で行われるフロアホッケ の岡純哉さん(21)は、新潟 れることもあった。

と訴え、SOを経験して社 活動が控えている。 通じて理解し合う機会を」 ないと話す。「スポーツを の就職支援は進んだが、 慎平准教授は、知的障害者 のある人たちの生き方を切 ボーツ支援の取り組みは少 しさを伝えるのが夢だ。 部署で働き、スポーツの楽 り開きたい」。福祉の行政 来年度は最終学年。 いが付いていく。 いる。生徒たちの演奏に勢

会に出る教え子たちへの期 は「みんなど一緒の練習は メンバーの一人、中学部らためて教えられた。 2年の上村帆野佳さん(14) る喜びを、生徒たちからあ かけた。返ってきた答えは して一緒に音楽を作りて 「上手になったね」と声を

期 話す。今回の練習などを通りてより。きつくなり。 英語でしっかりと自己紹介 で自分の意見を言うことは れが最近、全校の集まりで 決して多くはなかった。そ

中学部生徒全員で地元音楽家の橘光一さんと「銀河鉄道 999」「トレイン レイン」を演奏!最後は会場の皆さんと一緒に大盛り上がり。細川佳代子さんも

ージで一緒に踊ってくださいました!

ん(4)は12日、思いを語っ 12日、学校の 生 朱鷺メッセで開会式を見学 かかい した上げさんは夕方、市にか した上げさんは夕方、市にか が参加していて) びっくり が が参加していて) びっくり した。 (別会式では) 要張 かしないようにしたい」。 演 かとないできる裏び と 突回で表現していた。 12日、学校の友人たちと

い、「共生社会」を目指す を クスの新潟大会が12日、始 の クスの新潟大会が12日、始 スペシャル・オリンピッ (狩野浩平、江川慎太郎)

有森裕子さんもステー

朝日新聞 2月14日

で観客に手を振った。 ます」と話し、満面の笑み した。「ありがとうござい藤美姫さんらとともに出演

世親の寛子さんは落ち込雄琉君はダウン症。しか

「健常な子

けてもらいたい」。そう順 ンなど走るのが得意。スノ 前5年生。「大将はマラソ

してくれた。 「うれしい。

決勝もしっかり走る」

スノーシューでの頑張り

| 市議会議員会の「10年後の | ても、日頃の練習で体を動

をなした新潟の選手団は、

新潟市を拠点に練習するフ とあいさつ。聖火台には、

Aになって踊ろう」を歌っ

らダンスパトルを仕掛けら え、ダンスが好きな男性か

上がろう

「元気よく演奏

しよう」と声をかけ続けて

NIIGATA

金メダル (写真左)、

野

橋さんは生徒たちに

は会場が一体となって、「W

100人を超える長い列

ーシューを始める少し前、たほうがいいです」。スノ

せず、大会には出られなく ば1人で準備できなければ **| 大会に出場する選手は、** 

ーシューでさらに自信をつ

市立総合支援学校の小学

ノー」。学校の仲間たちの応 ・ メージすれば楽です。 ・ 「頑張れ

らにがします。虫は森にい 「(中略) 森で虫をつか

スとか自分へのご褒美をイーを上げた。山口君は「美し

く替けると、うれしい」。

例足そうな表情を見せた。 いた。気持ち良かった」。 の勢いを保ったままゴー

らついが、「響の上の競走は面 さついが、「響の上の競走は面

った漢字の勉強を続け、漢と先生たち。得意ではなか

をはいた山口君が輝いた。 自然の中で、スノーシュー うおぬまし」。その豊かな た。題は「森があるみなみ 南魚沼市【夢】作文コンク

サヒアレックスアイスアリ 年の藍野雄琉君(8)もその新潟市立東特別支援学校2

フィギュアスケーターの安 ーナに毎週通う。13日は、 1人。同市中央区の新潟ア

శ్ర

わった人たちは、 事務局長(58)は TR

0

0

校である障害者スポーツ

野。

「周りの人たちが障

会につながる」

0

も挑戦するようになった」

ール」で山口君は賞を受け

かす人は多い。

字検定の受検にも自分で手

ーツとして人気が高まって

Ó Ō. 0

選手7人でスタート。勢

選手?人でスタート。

つ母親から勧められ、

東子をご褒美にあげたり、 東子をご褒美にあげたり、 かに始めたスケートは、お がに始めたスケートは、お がい福祉課や小児科医院を 一覧記述維護者のためにで の子じゃない方がいいなんどもが障害を負っても、こ て思わないでしょ」 緒に滑ったりして励まし 足腰が強くなり、道で転

と。報告することが増え と、学校でダンスをしたこ ってきた。お屋を食べたこ ぶことも減った。順を追っ て物事を話せるようにもな 木曜日になると、学校

いる

と願う。「将来、スケート つけて生きていってほしい 変しみを見 演技するのが夢だ。 琉君は笑顔を返した。 ひもを結ぶ寛子さんに、雄い自分で結べないとね」。 くれたら。でも靴ひもぐら して、選択肢の一つにしてをやっていたことを思い出 (江川慎太郎、狩野浩平)

今はアニメ「ニューー・一今はアニメ「ニューー・一 の挿入歌「さんぼ」で 朝日新聞2月16 日

目指





を機に、様々なスポーツを 0 0

の地元に帰った選手や指導を願う一人だ。「それぞれ

s

ねが何よりの力になる」と「ボーツの道を広げ、共生社」と、学校を挙げて参加した「者たちが原動力となり、然してはしい。その領域は「独立し」と、それが庶曹者人、も生徒たちが出演するな、の地元に帰った選手を出して規勢の人たちと交」と「「純にスポーツの域に「関会式のア・ラクション」と「観り」人だ。「それぞ終出りて魅力に積極的に順「署者の可能性を信じるこ」「大会に選手を送り出し、「教諭(37)も、今後の広が、

続けたい」と話した。 るよう、児童たちを見守り だ。今後も、身近な障害者 への共感の心を養っていけ

として大会に関わった。全 まざまな人がボランティア

員が交通費や宿泊費を自ら

(江川慎太郎、狩野浩平

族、大学生や高校生などさ 疾、大学生や高校生などさ 会運営費のうち、半分以上 が個人や企業の各付でまか NPO法人「SO日本・

らえるように活動していき 振り返る。 SO精神、広がり願う

ボランティア40人、寄付60万円

O) 日本冬季ナショナルゲシャルオリンピックス(S)

聖火が消えるのを見守っ選手団やボランティアらが

よるスポーツの祭典「スペ知的障害のある人たちに 南魚沼で閉会式

クリーンにも映し出され、
会式の様子は、中継で新潟

南魚沼市民会館であった閉

通して障害を持つ人たちと

共に生きていくことの大切

ーム」が14日、閉幕した。

くことを期待したい」 ポーツがさらに充実してい O精神を生かした障害者ス

っての方々に感謝申し上げ いほど想像を絶する苦労が あった。大会に関わったす

無償で請け負った。

大会事務局によると、客

性を強調した。

をつないでいくことの重要 さつで、この先にSO精神

、地域や学 一連営に挑



閉会式では地元の子どもたちが「SOさいこう(最高)!!」のボードを掲げた=14日、南魚沼市六日町 心を届けようという行動た。お米の贈呈は応援する らしさに児童たちは気づい。その素晴 「障害のある人もない人もた。岡村秀康校長(59)は Oを学び、大会では学校田 手団に贈呈するなど交流し 塩沢小学校はあらかじめS 特別支援学校以外から SOの精神を生かそう

ちの労をねぎらうことも忘わたる準備に携わった人た

時 ランティアに支えられた。 は、延べ約4100人のボ はの来場者を迎えた今大会

れなかった。

に 付は約6500万円。事務 に加え、新潟市と南魚沼市 が「ふるさと納税」制度を で 100万円にのぼった。 (6)は「お礼の品はないのと、広報委員長としてふる 支えられた大会だった」と 知的障害者の息子がお (遺産)として、 「大会をレガシ

・大会会長は閉会式のあい えていきたい」。有森裕子 さを、すべての都道府県、

部は、技能を持つ会社員が的な技術が必要な分野の一 ど幅広い分野で活躍した。 縫って資料作成や会場設 映像や音響、ITなど専門

学校ホームページに最新情報掲載中!Google 等にて「南魚沼 支援学校」と検索!

澤敬音さん(中3)はフロアホッケー4位入賞(写真右、開会式旗手)という結果

全力を尽くした2人にあたたかいお声かけをいただけたら幸いです。

選手として参加した山口大将さん (小5)はスノーシュ